

令和元年度決算に基づく

富津市健全化判断比率審査意見書  
富津市資金不足比率審査意見書

富津市監査委員





富 監 第 64 号

令和 2 年 8 月 17 日

富津市長 高 橋 恭 市 様

富津市監査委員 磯 貝 昭 一

富津市監査委員 福 原 敏 夫

令和元年度決算に基づく富津市健全化判断比率審査意見書及び同資金  
不足比率審査意見書の提出について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項及び第 22 条第 1 項の規定により、令和 2 年 7 月 13 日付け富財第 230 号をもって審査に付された令和元年度決算に基づく富津市健全化判断比率及び同資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類について、次のとおり意見書を提出します。



# 令和元年度決算に基づく富津市健全化判断比率審査意見書

## 第1 審査の種類

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定に基づく健全化判断比率審査

## 第2 審査の対象

令和元年度決算に基づく実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率（以下「健全化判断比率」という。）

## 第3 審査の方法

市長から審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について、これらが関係法令に適合し、かつ正確であるか審査した。

審査にあたっては、富津市監査基準に準拠し、健全化判断比率の算定の基礎となる事項を記載した書類と、歳入歳出決算書及び同付属書類等を照合し、関係部局からの説明を聴取するとともに、決算審査等の結果等を踏まえこれを行った。

## 第4 審査の期間

令和2年7月13日から令和2年8月17日まで（予備審査期間等含む。）

## 第5 審査の執行者

富津市監査委員 磯 貝 昭 一

富津市監査委員 福 原 敏 夫

## 第6 審査の結果

審査に付された健全化判断比率について、富津市監査基準に基づき審査した限りにおいては、実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、令和元年度の実質収支が黒字であるので該当せず、実質公債費比率は8.6%、将来負担比率は69.0%で、いずれも早期健全化基準を下回る。

なお、健全化判断比率の算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められ、特に指摘する事項はない。

## ○ 健全化判断比率

(単位：%)

指 標 名	令和元年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	13.16
連結実質赤字比率	—	18.16
実質公債費比率	8.6	25.0
将来負担比率	69.0	350.0

# 令和元年度決算に基づく富津市資金不足比率審査意見書

## 第1 審査の種類

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定に基づく資金不足比率審査

## 第2 審査の対象

富津市温泉供給事業特別会計

## 第3 審査の方法

市長から審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について、これらが関係法令に適合し、かつ正確であるか審査した。

審査にあたっては、富津市監査基準に準拠し、資金不足比率の算定の基礎となる事項を記載した書類と、歳入歳出決算書及び同付属書類等を照合し、関係部局からの説明を聴取するとともに、決算審査等の結果等を踏まえこれを行った。

## 第4 審査の期間

令和2年7月13日から令和2年8月17日まで（予備審査期間等含む。）

## 第5 審査の執行者

富津市監査委員 磯貝 昭一

富津市監査委員 福原 敏夫

## 第6 審査の結果

審査に付された富津市温泉供給事業特別会計について、富津市監査基準に基づき審査した限りにおいては、令和元年度は流動負債に対して流動資産が上回り、資金不足額が生じないため、資金不足比率は該当しない。

なお、資金不足比率の算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められ、特に指摘する事項はない。

### ○ 資金不足比率

(単位：%)

会計種別	令和元年度	参考値		経営健全化基準
富津市温泉供給事業特別会計	—	流動資産	5,504千円	20.0
		流動負債	1,150千円	